様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	岐阜美容専門学校
設置者名	学校法人　岐阜美容学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	美容科	夜・通信	1050 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.g-biyou.ac.jp

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	岐阜美容専門学校
設置者名	学校法人　岐阜美容学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページの情報公開ページにて公表。 http://www.g-biyou.ac.jp/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	（現職）サロン経営	2024.5.28 ～ 2027.5.27	経営計画の策定
非常勤	（現職）サロン経営	2024.5.28 ～ 2027.5.27	経営計画の策定
非常勤	（現職）サロン経営	2024.5.28 ～ 2027.5.27	経営計画の策定
非常勤	（現職）会社経営	2024.5.28 ～ 2027.5.27	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	（現職）会社経営	2024.5.28 ～ 2027.5.27	ガバナンス構築
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岐阜美容専門学校
設置者名	学校法人岐阜美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 「美容師養成における教科科目の内容基準」に基づき、教務会議にて教育指針を決定し、その指針に基づき各教科担当の教員・講師により、授業方法・授業内容・年間の授業計画・達成目標・評価方法等の欄を設けたシラバスを作成。そのシラバスにより授業を行い、試験・レポート・学習意欲等により、各担当教員・講師により成績評価を行っている。 このシラバスは、前年度３月末までに作成し、新年度の授業開始までに公表できる用に努める。
授業計画書の公表方法　http://g-biyou.ac.jp/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 各課目に於いて、履修を確認するため原則として学期末に単位認定試験を実施。単位認定試験は、筆記試験と実技試験または、課題の提出等の方法により実施。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 各教科科目の学期末の単位認定試験、日常の提出物・学習態度および出席状況を勘案し、5 段階で評価をする。 単位認定試験において、５（90～100 点）、４（80～89 点）、３（60～79 点）、２（31～59 点）、１（0～30 点）にて評価し、成績の分布状況を示す資料を作成し、下位 1/4 の範囲を把握します。 なお、単位認定試験を欠席し、追試験して合格した場合の履修評価は一律 3 評価とする。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	http://www.g-biyou.ac.jp/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業認定・専門士授与の方針は次の通りです。 社会人としての一般常識と美容業界で働く専門知識並びに職業倫理を持ち。社会に真摯に仕える能力を身につけていること。所定の単位を修得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。 卒業要件は、在学２年以上 67 単位以上の修得、必須科目と所定の選択必修科目の履修及び単位修得、学納金の完納とし、卒業判定会議を経て学校長が卒業を認定します。この規定は、本校ホームページにて情報公開しています。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://www.g-biyou.ac.jp/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	岐阜美容専門学校
設置者名	学校法人岐阜美容学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://wwww.g-biyou.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	http://wwww.g-biyou.ac.jp/
財産目録	http://wwww.g-biyou.ac.jp/
事業報告書	http://wwww.g-biyou.ac.jp/
監事による監査報告（書）	http://wwww.g-biyou.ac.jp/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	専門課程	美容科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010単位時間／単位	1050単位時間・単位	単位時間/単位	960単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人	61人	0人	3人	15人	18人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業時間を1コマ50分とし、4月1日に始まり、翌3月31日に終わる。 卒業までの履修時間を2年間で2010単位時間とする。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の成績評価は、学期末において学期毎に行う試験または実習の製菓と履修状況や出席時間等を勘案して行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 出席状況を把握し、十分な補充を行った上で、出席状況が不良の者(所定の履修時間に達しない者)、実技・学科の追試験において、1教科でも不合格な者については。卒業を認めない。
学修支援等
（概要） 学習や履修に関する相談等がある場合は、担任または教職員に気軽に相談ができる。 就職や一人暮らしなどにも対応し、卒業後、国家試験不合格の場合も学習支援がある。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29 人 （100%）	1 人 （4%）	28 人 （97%）	0 人 （0%）

（主な就職、業界等）
ARTCHHARDIVADIVO、㈱INKSTIK、ピアス㈱、㈱J 天気予報、㈱EASTHAM.㈱ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｻｰﾌ ㈱Rooo エンターテイメント、㈱Neolive、㈱アデランス、㈱TOPHAIR、㈱IWAI、㈱RUMI、㈱ミッション、㈱サムソン Sophia、シュクレ㈱、㈱TYS、RINBeauty、専門学校等

（就職指導内容）
① 外部講師による就職セミナー（就職に対する心構え、就職状況、業界の動向）
② 就職ガイダンスの実施。校内で後援会サロンの就職ガイダンスを年 2 階実施。
③ 外部の就職ガイダンスに参加（1 年生～2 年生まで）
④ サロン見学の実施
⑤ 面接や履歴書の書き方指導

（主な学修成果（資格・検定等））
美容師免許、ビューティーコーディネーター検定、パーソナルカラー検定、松風公認インストラクター資格、日本メイクアップ技術試験認定、ドレススタイリスト検定、ブライダルプランナー検定、ネイリスト技能検定、ジェルイル検定、日本化粧品検定等

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	5 人	8%

（中途退学の主な理由）
体調不良、学業不審

（中退防止・中退者支援のための取組）
小さな学校なので、教務担任と職員全員が学生と関わることで細やかな対応を心がけている。出欠席と遅刻の状況二より、担任の個人面談を行い、保護者との連絡や連携を取るようにしている。また、場合によっては、スクールカウンセラー（公認心理士）によるカウンセリングも行っている。

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
美容科	120,000 円	円	635,000 円	
1 年次	円	560,000 円	400,000 円	
2 年次	円	280,000 円	305,000 円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://wwww.g-biyou.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
本校の教育水準の向上を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するために、教育研究活動等の状況について「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学内評価委員会により自己採点評価を行い、自己点検・自己評価を実施する。その結果にもとに、関連企業団体有識者、企業役員、保護者・卒業生等で厚生される学校関係者評価委員会を実施している。自己点検・自己評価の主な評価項目は、①教育理念・目標②学校運営③教育活動④学修成果⑤学生支援⑥教育環境⑦学生の受入れ募集⑧財務⑨法令等の順守⑩社会貢献⑪国際交流に関する評価項目のないようについて、改善事項を抽出し、学校関係者評価委員会にて総合的に評価を実施している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容関係会社相談役	令和 6 年 5 月 28 日～ 令和 9 年 5 月 27 日	関係業界
美容関係会社支店長	令和 6 年 5 月 28 日～ 令和 9 年 5 月 27 日	関係業界
美容室オーナー	令和 6 年 5 月 28 日～ 令和 9 年 5 月 27 日	関係業界
美容室経営役員	令和 6 年 5 月 28 日～ 令和 9 年 5 月 27 日	関係業界
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.g-biyou.ac.jp/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
http://www.g-biyou.ac.jp/